

## 平成20年度財団法人JKA補助事業報告

補助事業番号 20-37

補助事業名 平成20年度産業デザイン広報活動等補助事業

補助事業者名 財団法人日本産業デザイン振興会

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

デザイン振興の意味合いは、単に良いモノを作り、デザイナーの育成を行うという段階から抜け出し、モノが作り出される背景・シナリオに基づく企画・製造・販売・評価に至るまでのプロセス全体の振興を意味するものに変化してきております。

特に、グローバル化による厳しい国際競争を強いられているわが国産業界の構造を考えると、相対的に高いコスト（人件費・原材料費等）・価格に見合う「価値ある製品」を作り出すことが望まれている点がことさら重要なポイントとなってきております。当財団ではデザイン振興を通じて、この「価格に見合った価値ある製品作り」の実現により直接・間接的に機械工業の需要拡大をはかり、中小企業の振興・地域経済の活性化に貢献することを目的としております。

デザインに対する産業界の取組み姿勢は、近年とみに積極さを増して平成20年度のグッドデザイン賞（Gマーク）の応募数は、3,023点となり、デザインに対する企業の取組みの真剣さを窺い知ることができます。また、2年目を向えたギャラリースペースの運営、リエゾンセンターにおける人材育成の取り組みなど産業界、教育界等との連携のもと、各種事業を通じてデザイン活用の有効性をPRしてしております。さらに、国際展やスキル・スタンダード等の新しい試みも展開してしております。

#### (2) 実施内容

##### ア. デザイン振興プラザ事業

東京ミッドタウン・タワー棟5階の一部をデザイン振興プラザとして借用し、先端デザインの発信や世界におけるデザインの現状紹介など多種多様なデザイン情報の収集・発信拠点として活用いたしました。このスペースを利用して各回毎にテーマを設けた9回の企画展（内、財団法人JKA補助4回）を実施し来場者数も7.6万人と目標値を大幅に更新し、国内外のデザイン情報を広くPRすることができました。特に今年度は第二段階を見据えて、タイ王国のデザイン展を開催し、各方面からの賞賛を得ました。

## イ. 産学連携推進事業

### ① リエゾンセンター等運営事業

東京ミッドタウンの一角に「知の拠点」としてリエゾンセンターを設け、海外の教育機関8校と国内企業の共同研究、各種セミナーの開催（5回実施）のための「場」の提供と実施のためのサポートを行いました。また海外連携各機関を中心とし、参加者数約100名規模で実施した国際シンポジウムを開催（1回）いたしました。

特に、今年度においては、事業の一層強化を図るため、上記に加え能力開発研究会・デザイナー・スキルスタンダードの研究など意欲的に新たな展開を試みました。また、リエゾンセンターの活動を更に周知させる意味合いから広報Webサイトを構築し、その運用に努めました。

### ② 人材育成・活用事業

「デザインイニシアティブな方法」（製品等の将来的なあり方をデザインで率先し、賛同を得て開発の方針を進める等）の普及のため、産業界各社・デザイン系大学の融合による企画展「デザインコミュニケーション」を開催いたしました。この企画展は東京ビッグサイトにて2008年8月22日から3日間開催したグッドデザインエキスポ（略称GDE）に併設された特別企画展として実施し、来場者数は41,000人（GDE入場者数）を数えました。

学生と企業のマッチング効果が高まるようにプレゼンテーションやデザインモデルの展示を工夫し、スケッチが製品になるまでの「流れ」等を盛り込み理解し易い展示を心がけました。

## 2. 予想される事業実施効果

### ア. デザイン振興プラザ事業

このプラザ・スペースを有効活用することによって国内外の良質デザインの多角的・多面的な広報・発信を行い産業デザインにインパクトを与え続けることができます。また企業、デザイナー、教育機関等広範囲にわたるデザイン関連の情報収集・発信を行い産業デザインのレベルアップを強力に推し進めることができます。

今年度より実施した海外連携のデザイン展は事業実施の第二段階への足がかりとなり、今後更なる振興拡大が期待できます。

## イ. 産学連携推進事業

### ① リエゾンセンター等運営事業

国際的に著名な国内外のデザイン研究機関や国内企業、デザイン系学生の連携によって開催された国際シンポジウムや各種セミナー、これを紹介した当財団HPは広く発信され、参加者はもとより企業をはじめとする関係各所の注目

をみつめました。これらを契機として海外研究機関への留学や新たな産学協同プロジェクトの発生等々すでに新しい展開も芽生え、グローバルな高度デザイン専門教育の中心的機能としての役割は確実に増進しております。

また、新しい取り組みで開始したスキルスタンダードの研究・能力開発研究会等の事業活動が評価される事により、海外の有力機関との連携がより一層強化されこれらについても高度デザイン・国際化増進の一助となることが期待されます。

#### ② 人材育成・活用事業

特別企画展「デザインコミュニケーション」の開催に対する出展はデザイン先進企業18社、デザイン系大学8校と計26団体の参加で、展示内容についてはスケッチが製品になるまでの「流れ」を模した斬新なもの等々を含め、来場者・報道機関の注目を集めました。産学共同の「場」を提供することにより、学生に作品発表の機会を与え、企業と学生のマッチングサポートを行うことによって学生、産業界ともに今後の充実した展開につながってゆくことが見込まれます。

### 3. 本事業により作成した印刷物等

今年度に該当事項はありません。

### 4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名 : 財団法人日本産業デザイン振興会（ニホンサンギョウデザインシンコウ  
カイ）  
住 所 : 107-6205  
東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階  
代 表 者 名 : 理事長 飯塚 和憲（イイツカ カズノリ）  
担 当 部 署 : 総務部（ソウムブ）  
担 当 者 名 : 課長 若木 潔（ワカキ キヨシ）  
電 話 番 号 : 03-6743-3772  
F A X 番 号 : 03-6743-3775  
E - m a i l : [wakaki@jidpo.or.jp](mailto:wakaki@jidpo.or.jp)  
U R L : <http://www.jidpo.or.jp>